

議 事 録

開催場所	大津市今堅田二丁目4-1 大津市立北老人福祉センター
開催日時	平成28年7月28日(木) 14時15分～15時30分
出席者	利用者の家族代表 薄永 季子 民生委員 浅田 平
	地域包括センター職員 小笠原加代子 介護支援専門員 福本 有
	センター利用者 鈴木 啓介 事務局(所長) 辻 辰巳(生活相談員) 山田 ゆき子
資料等	別添のとおり
内容	<p>1. 開会</p> <p>配布資料の確認</p> <p>2. 所長あいさつ</p> <p>地域密着型通所介護へ移行。運営推進会議開催が義務付けられた。日頃、取り組んでいる内容をご説明させていただきご意見、ご要望ならびにご指導いただきたい。</p> <p>3. 運営推進委員紹介(事務局より)</p> <p>4. デイサービス事業の概要(以下、説明資料に基づき説明)</p> <p>はじめに、当センター設置目的及び大津市社会福祉事業団の設立について説明。</p> <p>1)事業方針 ①あなたの笑顔 今日も 明日も ②あたたかい心と笑顔で安心・安全なサービス</p> <p>③地域に貢献する事業団 を基本方針としています。</p> <p>2)基本的事項(デイサービス事業運営の)①利用者一人ひとりの個性を尊重し、集団、個別の機能訓練による自立支援を目指します。②介護予防、アクティビティプログラムによるADL低下予防、心身機能向上等を継続し実施。③自己評価の定期的な実施と介護サービス情報を公表を基本に進める。</p> <p>3)デイサービスでは</p> <p>主に要介護(要支援)認定を受けられた方が利用でき、入浴、食事、レクリエーションなどの介護サービスを受けられる。利用目的は違っても一日を楽しく安心して過ごしていただいている。</p> <p>一日のスケジュールを説明。</p>

5. 平成28年度事業の方針

- 1) 特色あるデイサービスの実施 2) 地域とふれあい地域で暮らす喜びが感じられるデイサービスの実現の2本柱を掲げている。1) 特色のあるデイサービスとして①利用者自らが出来ることは尊重し、出来たことへの喜びと自信を感じていただけるデイサービス(自立支援)②老福センターに併設されたデイサービスの利点を生かし、自分にあった趣味を楽しんだり、買い物、外食ツアー、お出かけ図書館など生きがいを感じていただけるデイサービス(個別活動の充実、レクの選択制)③老福主催の講座、多彩な催しに参加、充実した日々を送っていただけるデイサービス(地域と密着した集団レクの展開)④理学療法士の巡回指導による運動機能や生活能力に取り組むデイサービス(リハビリ指導)へ。
- 2) 地域とふれあい地域で暮らす喜びが感じられるデイサービスの実現に向け①積極的に地域イベントに参加(地域密着型デイ)②利用者、園児とのふれあいそして地域ボランティアとの連携による充実したデイサービス(地域密着型デイ)を基本方針に取り組むんでまいります。

6. 平成28年度事業の実施状況(平成28年4月～7月)

* 定員 12名 * 利用者登録者数 30名(通所介護21、予防通所介護9) * 1日平均利用者、6月は低迷し9.8人/日、7月は11.1人/日平均年齢84.6才、平均介護度1.27 1) 職員の資質向上のための取組み 2) 事故、ヒアリハット事例、対応状況を説明。 3) これまでの実施状況を写真で報告。

7. 意見交換

山田:こちらからの説明は以上です。意見交換と言うことでご意見がございましたらお願いします。

:利用者さんは欠席されてますが、事前に利用者さんからご意見を聞いているので報告します。

:Aさん 自立支援について、自分で出来ることは自分ですと言う方針は、リハビリにもつながるし、在宅生活を継続するためとても良い取り組みと思っている。またリハビリ指導についても家で実践しており有難い。買い物、外食ツアーなどたくさんの企画をしていただき楽しんでます。最初は、デイサービスに通うことに世間の冷たい視線を感じていたが、一般利用者とふれあい、お話ししたりいろんな情報も入り、人との繋がりも出来て喜んでいる。要望は心が落ち着く茶道をやってほしい。

:Bさん 今後、地域密着となると利用者も家族も意識改革をしないとイケない。デイサービスをどう思って、どう言う気持ちで利用しているか、今後どのように生活して行きたいか目的意識をもって利用することが地域密着型に必要なでないか。また、やってもらって当前でなく利用者も職員も双方が思いやりをもって尊重しあうことが大切だと思う。障害者に対しても同じだと思います。

Cさん:とても良くしてもらっているのでも有難いです。

山田: それでは、委員さんから地域密着に向けてきたものないご意見をお聞きしたいと思います。

小笠原さん: 今、デイサービス人気は、リハビリ特化型と半日デイで、特に若い人、男性には人気である。

いろんなケアマネ会議に出席しているが、本当に良くしていただいていると言われる利用者は北老に多い。すごく感謝しておられる方も北老の方ですぐ顔が浮かんでくる。

北老は、定員12名なのできめ細やかなサービスを行っている。また老福利用者なら中のこともよく知っているのだから北老デイに行きたいと言う人もいる。反対にデイに行ってるのを知れたくない方もおられる。理学療法士によるリハビリをしているならもっと宣伝すればよい。

福本さん: 将棋など自分の趣味があればサークルに参加出来るという特徴があると思っている。

: デイの休日。土曜日が開いているのでよいが日曜日も利用できれば良い。他の事業所は年末末30日ぐらいまで開けているが、事業団は年末年始の休みが長いように感じる。家族は年末の忙しい時に預かって欲しいのですが

山田: 4, 5年前から祝日営業するようになった。年末年始は30日ぐらいかな。

小笠原: 年末にお風呂に入って年始を迎えたいと思っている人も多い。この時期にお風呂に入れないのはキツイ。

薄永さん: おばあちゃんに他に行ったらと言っても私は北老が大好きなところや北老「命」と言ってます。

お迎えの時間が少し遅れる時も必ず連絡をいただき細やかな心使いをいただいている。家でしゃべっても話が續かないが、お年寄り同士、年代の近い方とのおしゃべりするのが楽しみで毎回、今日は楽しかったと言って帰って来る。また足湯をしてもらえるのも気持ちがいい見たいです。自分が一番上でないし、まだ上がいるし若いという気持ちが元気の元だと思っている。今まで苦情は聞いたことはないです。

鈴木さん: 以前、妻が利用していた。店員12名で家庭的な雰囲気できめ細やかな配慮がありがたい。

以前、ヘルパー研修で40名規模のところに勉強に行ったが、事務的でなかなか行き届いていないと感じていたが、ここは家庭的な雰囲気で接することが出来る。それを特長にされれば良い。

浅田さん: 運営推進会議にどう言う話が出るのか楽しみにしていた。運営推進会議の主旨から言えば

以前、母がデイを利用しており、家族は帰ってきたノートにどう書いてあるのか見るのを楽しみにしていた。今、私はデイにいるが、連絡ノートに毎日同じ文書を書いていることもある。それはしかたがないのかも知れないが、ここは12名、ひとり一人の目配りも出来ると思うので家族にと

って有効な情報を家族は欲しい。デイでどのような生活をしているのかも気になるが、帰ってきたら、家族のものがどうして上げればいいのかも考えていきたい。

よく感じるのは、預かってもらっているので楽をできるという人もいる。それも必要だが本人にとって快適に一日を過ごすために家族はどう言うことが出来るか、いっしょになって勉強しないと良くならない。そんなに多くはできないがアドバイスがノートに書いてあれば家族にとって有効な情報で出来るだけ些細な情報でも書いてもらいたい。

山田：連絡ノートをどこまで書くか。ここのデイでもよく議論しています。

浅田さん：今日は様子がおかしいなと思って連絡ノートの情報を見て安心する。バイタルも有効な情報。

5, 6年の体調管理を記録として残していただければそのデータが有効に使える。出来れば折れ線グラフ化して推移を見守りたい。

小笠原さん：独居の人も連絡帳にコメントが書いてあればケアマネさん、ヘルパーさんが見せていただ

ける。ノートを見せて「こんなことがかいてある」と言ってくる人もいる。自分のことを書いてくれることもないが

山田：連絡帳の内容を充実させるようがんばりたいと思います。

辻：予定時刻を大きくオーバーしてしまいました。年2回ですので次回は、1月から2月末までに開催したいと思います。次回の会議は、何か「テーマ」をもって進めた方がいいように思っていますのでよろしく
お願いします。本日はありがとうございました。

以上